

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・目立って高価格商品への抵抗感が明らかに減ってきている。石油関連商品、例えば包装材などが2～3割高くなれば別であるが、傾向としては上昇気運が続いている。
		百貨店（売場主任）	・初売、冬のクリアランスと集客を期待できるとともに、消費意欲の高いヤングキャリア層に期待したい。セール商品は、催事場を含め大幅な伸びをしているので期待したい。
		スーパー（店長）	・市内の大手スーパーが今月末に閉店し、幾分、来客数の増が見込まれる。
		衣料品専門店（経営者）	・昨年と比べ、雪もなく少し温暖の日が続いている。雨の日が多いが、客の動きが活発になっており、ニット等の単品の動きが更に加速する。客が外出しやすい状況になっている。
		衣料品専門店（店長）	・ウォームビス、年末商戦、初売りなどのイベントによるモチベーションで客が動く。不況の時ほどイベントで集客できることから準備している。
		家電量販店（従業員）	・気温の低下とともに暖房器具が前年を上回っており、特に灯油価格が上がったことにより、電気暖房が好調に動いている。地上デジタル放送が12月に始まり、映像関係を中心に動きが更に良くなる。これらにつられるように白物商品、パソコン関係の動きが良くなることを考えると今後の見通しは明るい。
		乗用車販売店（経営者）	・新潟県中越地震復興事業の効果が少しずつ見え始めてきた。
		一般レストラン（経営者）	・土地、不動産関係が動いているように見える。仕入れ市場の様子もかなり上向きになっている。客の中でも景気は底を打ったという話が出て、リストラや悪い話はあまり出ていない。
		スナック（経営者）	・今月はいつもよりもかなり客足が悪く、売上が落ち込んだが、来月、再来月は忘新年会等で団体が流れて来るので、景気は幾分やや良くなる。
		観光型旅館（経営者）	・2、3か月先はオフシーズンとなるが、バス会社等の企画が先行し、4月、5月にかけて例年のオフシーズンよりも格段に良くなっている。新年は良いスタートが切れそうである。
		観光型旅館（経営者）	・12月の忘年会やグループでの週末旅行の予約が昨年より多い。平日の予約状況も、昨年よりはやや好調の様子である。宿泊での宴会を控える傾向はやや弱まった感がある。
		通信会社（営業担当）	・一部企業（自動車、証券）においては、業績アップで消費が増える要素がある。
		観光名所（職員）	・冬期は来客数が少ないが、予約状況はまずまずである。2月は大きな祭りがあり、期待している。
観光名所（職員）	・前年同時期の予約状況より、今年の方が伸びている。		
住宅販売会社（従業員）	・受注の見通しがついている。		
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・今月大型スーパーが閉店したことで、商店街への来客数の増加が考えられるが、あまり変化はない。
		一般小売店 [書籍]（経営者）	・定番品（用語辞典など）が売りのほか苦戦している。百科事典に類する調べ物系の書籍は落ち込みが大きい。新商品のDVDブック（本+DVD）なども、安価なものはある程度動きがあるが、3千円以上になると大苦戦の状況である。
		一般小売店 [医薬品]（経営者）	・客の中では、関東地域は景気が良いが、東北地域が景気が良くなるのはずっと後であるという話が多い。
		一般小売店 [雑貨]（企画担当）	・個人消費に対して社会保険料の増、定率減税廃止等はマイナスに作用するが、株高等資産の増加はプラスに働く。機能が良い商品や独特の商品は売れているが、景気全体では変わらない。
		百貨店（売場担当）	・ボーナスを当てにして買う客が増えてくるが、かなりシビアな買い方になる。全体的に良いものであれば購入に結びつくが、なかなか難しい。
		百貨店（販促担当）	・天候にも左右されるが、業界全体のヒット商品がないことが、年頭から春にかけて影響する。
		百貨店（経営者）	・今の経済、社会環境をみると、簡単に買上単価が上がるとは考えにくく、買上客数でカバーできるものでもない。

スーパー（経営者）	・衣料品は多少持ち直すものの、来客数の伸び悩みと競合激化からの売上の伸び悩みが当分続く。
スーパー（経営者）	・冬季に入り、新潟県中越地震復旧工事の従業員が一時的に減少する。大きな影響ではないが、1～2月に影響が出ると懸念される。
スーパー（経営者）	・当地域では、これから一番寒い時期を迎え、灯油の高騰が心理的に大きな影響を与える。地方経済は完全に浮上したとは言えず、一次産業が多い当地域では、製造業の好況もあまり大きくプラスに作用せず、このまま変わらない。
スーパー（店長）	・競合店の影響は、チラシ価格競争による単価低下、客の買い回り傾向を強めている。また、買上点数減少が今後も続き、競合店の影響による来客数減少と合わせ、売上への影響がますます大きくなる。
スーパー（店長）	・原油の高騰は一息ついたが、オーバーストアといわれている地域にドラッグストア等の各社が進出し、またリニューアルオープンもあるなど、価格競争が激しく単価下落に歯止めがかからない。このような状況は当分続く。
スーパー（店長）	・年末商戦を迎えて期待感はあるが、灯油の値上がりで家計に影響が出ており、客単価が下がっていくと予想される。また、帰省客も減少すると予想され消費に影響が出てくる。
スーパー（店長）	・競合店との価格対応合戦が依然より激しく、野菜等の相場安も加わり、客単価減が続いている状況で、売上としては減少傾向にある。
スーパー（企画担当）	・ボーナス支給額の増加がニュースとなっているなかで、年末年始が期待されるが、食品スーパーにとっては、特に大きなヒット商品もなく変化はあまりない。
コンビニ（エリア担当）	・世間一般に言われるプラスの要因により、市場が盛り上がることはない。むしろ末端の部分では買い控えにつながる増税等のマイナス要素が大きく先行きが懸念される。
コンビニ（エリア担当）	・11月中に、担当地域内において、同業他社のコンビニが数店開店しており、全体として変わらない状況で推移する。
衣料品専門店（経営者）	・上位客の購買行動に景気の回復が感じられ、しばらくこの状態が続く。
衣料品専門店（店長）	・コート、ニット、アウター等の季節商品の動きが本格化しているものの、売上点数減をカバーできるだけの単価上昇が図れていない。
衣料品専門店（総務担当）	・販売量の動きや取引先等との話を考慮すると、以前より若干良くなっているが、更に良くなるという感じはない。
乗用車販売店（経営者）	・自動車市場並びにガソリン価格の動向から、登録車の軽自動車や中古車への流出に歯止めがかからず、それを回避できる要素はなく、自動車総需要としての低調さは変わらない。
乗用車販売店（経営者）	・増税やガソリン高騰といった不透明な状況から景気が良くなる見込みは薄いと思われるが、1～3月の需要期にかけて更に新型車の投入を控えており、悪くても現状維持で推移する。
その他専門店〔酒〕（営業担当）	・年末にかけて忘年会や贈答のシーズンになるが、一般家庭用の贈答はまずまずであるが、企業や公共関係は例年通り期待できないので昨年と変わらない。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・客の購買状況が節約志向になったままであり、今後の暖房用の需要が増加してくるに伴い価格高騰のあおりが出てくるのが予想され、より一層の節約志向が進む。暖房用の燃料としての、灯油、A重油が、他のエネルギーに変わっていくことも予想され、石油業界としての長期的な需要減少が予想される。オール電化の家への転換等の動きが今年に入ってから顕著になってきている。
高級レストラン（経営者）	・非常に良い状態が続くが、これ以上良くなることはない。この状態は来春まで続く。
都市型ホテル（経営者）	・忘年会や新年会等予約状況は昨年同様であるが、単価を上げるべく新しいパック商品を投入したが、なかなか単価が上がらない。一般の宴会及び展示会等でも値下げの要請が多く、多忙な割には総体的には売上が増加していない。これからもこの傾向が続き、新しいホテルのオープンにより、ますます宿泊の客の獲得が難しく、価格競争も激しくなり、収益を圧迫していく。
都市型ホテル（経営者）	・予約のスパンが短いため、現状と変わらない。忘年会、新年会等は、ほぼ前年並みで推移している。
旅行代理店（従業員）	・現在の受注状況からすれば、団体は前年並みではあるが、個人は厳しい状況である。

	やや悪くなる	タクシー運転手	・年末が近づき、ますます乗り控えが目立っている。
		商店街（代表者）	・予約状況からみて、今年の年明けと同じく、来年の年明けもほとんど動きが出てこない状況である。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・この冬場や春先に海外、国内旅行に出る人の話を多く聞くが、地元商店では、その分必要な量だけを買うという傾向が多くなると考えられ、現状からは期待できない。
		スーパー（経営者）	・暖冬基調で推移しているものの、灯油価格が30%以上高く、ガソリンの価格も20%以上高い状況にあるため、客が消費に向かわない。
		住関連専門店（経営者）	・例年年明けは販売量が少ない。また、周りではボーナスが出ない企業も多く、景気回復の兆しがみえない。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・年末に相当人もお金も動く。年明けはその反動でお金も動かなくなる。天候によってかなり左右される。雪がどのような状況でいつ降るかで左右される。あまり高額でない、裾物と呼ばれる単価の低いものが動く。
		観光型ホテル（経営者）	・立地条件から11～12月の見通しは明るい、新年に入って1月からの来客数は読めない。良くて例年並みである。予約が多少早まった感がある。
	悪くなる	通信会社（営業担当）	・灯油、ガソリンの値段が上がっており景気はますます悪くなる。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・年内は製品価格を据え置くので、競合他社のシェアをとれる。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度末で売上が伸びる繁忙期に入るが、役所では予算の削減で今年から作らないというケースも出てくるなど楽観視はできない。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・株価が上昇してきており、心理的效果により景気が良くなるムードがある。また、近隣の工場の設備投資があちこちで始まっている。
		建設業（経営者）	・リフォーム工事関係だけでなく、新築や増築工事の引き合いが出てきている。
		建設業（企画担当）	・市内の物件数の増加と製造業の設備投資意欲が徐々にみえてきている。
		広告業協会（役員）	・12月の地上デジタル放送が始まり、テレビの買い換え需要が旺盛になっている。当業界としても広告主にメリットをプレゼンテーションし、CM等の出稿を図っていく。
		公認会計士	・電子部品製造の受注が順調に伸びるなど製造業の好調さが他業種に波及し、景気が上向いている。
変わらない		その他企業〔管理業〕（従業員）	・一部の工場を除いては、工場全般に忙しくなっており、この状態は春頃まで続く。
		食料品製造業（経営者）	・米国のBSE（牛海綿状脳症）問題が解決し、牛タンの材料は、来年1月の中頃に入る予定であるが、実際、ある程度の数量が確保できなければ、まだまだ高い相場にあるので、景気回復は見込めない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・自動車部品は今後も好調さが持続されるが、為替が反転した場合の不安材料がある。民生機器もしばらく好調さは続くが、好不調の波が激しいのが難点である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・年度末にかけて毎年駆け込み受注を期待しているが、情報端末の一部に動きがあるものの、全般的に静かな状況である。当地域では、自動車関連の部品加工が相変わらず活発で、業種によって差が出ている。
		輸送業（経営者）	・軽油価格が大幅に下がることはなく、また、当社の大口荷主において物流費の見直し計画が進められている。
		広告代理店（従業員）	・現在まで市内で作成してきた大型物件を、今後は本社管轄で作成する企業があり、その分が目減りする、プラスマイナスでゼロとなり、結果として変わらない。
やや悪くなる		その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・年末の日本酒需要期には期待できるが、年初から酒類需要減は変わらない。
		食料品製造業（経理担当）	・1～2月はもともと不需要期であり、原料、燃料関係の市況が好転しそうにないことからやや悪くなる。
		繊維工業（総務担当）	・生産期間の長い春夏物の生産に入っているが、今一つ受注の感触が悪い。企画提案力がますます要求される。国内帰帰の動きが一部にみられるのが光明である。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・秋のサンマ、カツオの不漁が様々な分野に影響しており、2、3か月は続く。

	悪くなる	農林水産業（従業者）	・米の販売価格が前年比92～95%、りんごの販売単価が前年比70%くらいとなっており、専業農家としては、生活が非常に苦しくなっている。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・県南メーカーからの数十名単位の技術要員、作業要員の要請があり、県南地方の登録者が不足状態で慢性化している。その他の引き合いも暫時増加傾向にある。年明けにかけて、数万件の入力派遣、行政のデータ処理派遣等が控えている。
		人材派遣会社（社員）	・もう十分に景気は良くなっており、これ以上良くなることはない。
		新聞社 [求人広告] （担当者）	・年末に向けた繁忙期対応が多いため短期就業が集中しているが、年始には大分落ち着く模様である。年明けからニーズが高まることを期待して人材確保につなげたい。
		職業安定所（職員）	・人材に対する採用意欲は強いが、ミスマッチから就職につながらない。この状況は変わらない。
	職業安定所（職員）	・冬期は例年採用数が減少する傾向にあり、今後も大手スーパーの撤退問題など予断を許さない状況が続く。	
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・求人は3か月ぶりに減少したが、一時的なものであり、今後も増加傾向で推移する。求職者は大型スーパーの店舗閉鎖により、テナントも含め500人以上の離職者の発生が見込まれ、後継テナントの決定、再開時期が未定であることから、当面地域の雇用情勢は厳しい状態が続く。	
	職業安定所（職員）	・事業所閉鎖に伴う離職者が増加傾向にあり、新規高等学校卒業予定者の内定状況も良くない。	
	悪くなる	アウトソーシング企業 （社員）	・3か月後には市町村の来年度契約が始まるが、すでに値下げして欲しいというところが出ている。